

いきいき 行田人

音楽を愛してやまない指圧師

久保田靖孝さん（40歳・真名板）

今月は、「Noise Factory ぼんばお」という活動名で、行田に関するオリジナル曲をギターで弾き語る久保田靖孝さんを紹介します。

幼いころから楽器に囲まれた家庭で育った久保田さん。中学生のとき、初めて手にした自分のギターで同級生らとバンドを結成し、音楽漬けの日々を過ごしました。高校卒業を前に、プロのミュージシャンを目指すか悩みましたが、音楽は趣味として続けることに決め、指圧の道に進みました。

指圧の資格を取得し、病院に勤務してもなお、音楽への情熱は変わることはありませんでした。病院内のイベントで曲を披露するなど、院内で注目を浴びる存在となった久保田さんは、同じ趣味を持つ2人の患者さんと出会い、3人で「荒削りな音楽を生み出す私たち」という意味のバンド「Noise Factory」を立ち上げました。スタジオでセッションして楽しんでいましたが、仕事の都合で活動を休止してしまいました。



それから10数年の月日が流れ、行田で指圧院を開業。仕事の合い間に1人で楽器を弾いて楽しんでいた久保田さんですが、再び音楽魂に火を付ける出来事が起こりました。映画「のぼうの城」の公開です。まち全体が活気づく中「大好きな音楽を通してわがまちのPRに一役買いたい」という思いから、かつての仲間との思い出が込められたバンド名に「平凡なパパ」を意味する「ぼんばお」を付け加え、平成24年にソロ活動をスタートさせました。「自分だったらこんなエンディング曲を流すだろう」と想像し、映画をイメージしたオリジナル曲を作成。行田浮き城まつりのステージで初めてその曲を披露しましたが、満足のいくパフォーマンスができず、苦い経験をしたそうです。

「人前で歌うことはやめよう」と心に決めましたが、自分の思いとは逆に、老人ホームなどから演奏依頼を受けるようになりました。「チャンスをつかむのはもったいない」と、久保田さんはステージに立ち続けることにしました。音楽と行田への熱い思いは加速し、今では「忍城おもてなし甲冑隊」など行田をイメージした曲を次々と生み出しています。

「私の音楽が皆さんの心に残るBGMになればうれしいです。そして、聴く人と一緒に楽しく楽しめるような音楽を生み出せたらすてきですね」とほほ笑む久保田さん。音楽に掛ける情熱は、これからもずっと冷めることはないようです。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

俳句

忍 岡田 修

夜の雪空は高さを失えり

裏庭で心おどるや春の花

荒木 高澤よね子

持田 田尻 幸代

おしゃべりは老の極楽春炬燵

沈庁花湯気のみこうで覗いてる

埼玉 松岡 孝子

荒木 蛭間しげ子

卒業歌誰もが胸を震わせて

春場所もいま一押しの日本勢

持田 丸山 麟一

桜町 吉岡 守子

それぞれの木々も芽吹きの日和かな

光る春ねこつれだちてどこに行く

谷郷 大谷 峯生

荒木 森田 静

春泥を歩むは土着の心意気

たよりなげに水やりの先黄初蝶

緑町 鈴木喜久女

中里 鯨 美智子

幼な名で声かけらるる彼岸寺

風に乗り蒲公英の絮旅に出る

清水町 柳沢 紀子

南河原 今村 文女

鳥達がついばみて散る花の舞

花盛り吾がダイヤ婚祝うかに

持田 小倉 繁三

城南 千代田富子

春眠や僧の警策に背すじのび

啓蟄の土ふみながら散歩道

佐間 藤田 久声

本丸 関 常子

恋歌のごとく降り来る春の雨

さざんかの花一輪も部屋かざり

城西 八木橋近蔵

(木島 斗川 監修)

寒さにもめげず札所の経の声

はじめまして

平成24年
5月生まれの
おともだち



平成24年7月生まれの
お子さんを募集します

- 5月1日(水)~31日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、6月4日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

応募お待ちしております!



町田 璃桜ちゃん(持田)
平成24年5月21日生まれ
父 裕太さん(母) 有季恵さん
「笑顔いっぱいの子の
女の子♡」



横田 宇海ちゃん(長野)
平成24年5月30日生まれ
父 達也さん(母) 由佳さん
「でっかい男になれよ!!」



小和瀬 斗慎ちゃん(駒形)
平成24年5月16日生まれ
父 一圭さん(母) 有紀さん
「笑顔と幸せを
運んできた僕☆」



ムニベ福崎 竜助ちゃん(佐間)
平成24年5月16日生まれ
父 ビクトルさん(母) パメラさん
「元気で強い子に
なってる♡」



堀口 美咲ちゃん(埼玉)
平成24年5月26日生まれ
父 英行さん(母) 百合子さん
「我が家の太陽♡」



野口 侑李ちゃん(荒木)
平成24年5月20日生まれ
父 桂史さん(母) 千春さん
「素直で元気な子に
育ってる☆」



〈新連載〉

ぎょうだの会社を クローズアップ!!



森乳業株式会社

徹底した品質管理の先に、
お客さまの笑顔



会社プロフィール

代表取締役社長 横島廣太郎

事業内容 牛乳、乳飲料、清涼飲料、果汁飲料、その他の乳製品の製造販売

栄養バランスが豊かな牛乳・乳飲料・果汁清涼飲料を通して「健康とおいしさ」を届けている森乳業株式会社。同社といえ「わたたばくコーヒー」をはじめとする「WATABOKU・わたたばく」ブランドの商品が思い浮かぶのではないのでしょうか。皆さんが慣れ親しんでいる商品は、徹底した品質管理と安全・安心へのこだわりをもって製造されています。「私たちのモットーは、『良質第一』。お客さまが飲む製品を生産する会社として、品質は何よりも優先される重要事項です。製品の企画・開発から、生産・出荷に至るまで、それぞれの部門が規則を順守しながら、安全で安心な製品づくりに努めています」と総務部長の本間さんは語ります。そして、さらなるおいしさを追求するため、時代や環境に適応した設備

を継続的に導入し、多くの方に喜んでもらえる製品づくりに取り組んでいるそうです。このような環境の下で生産された製品をスーパーマーケットなどの大手量販店に納品したり、埼玉県全域の小・中学校や学校給食センターに供給したりしている同社。一つ一つの商品に「牛乳のある暮らしを楽しんでいただき、笑顔あふれる生活を実現したい」という社員全員の思いが込められています。明治20年に本市で創業を開始した同社は、今年で126年目を迎えます。「行田の森乳業」として、これからも変わらぬ元気の源をつくり、健康とおいしさを届けていきたい。そして『WATABOKU』を全国ブランドにするのが夢です」多くの方の笑顔に出会うために、同社の飽くなき挑戦は続きます。

市内にはたくさんの会社がありますが、どのような仕事をしているのか、どのような製品を作っているかご存じですか。今月から市内の会社を訪問し、紹介するコーナーを始めます。